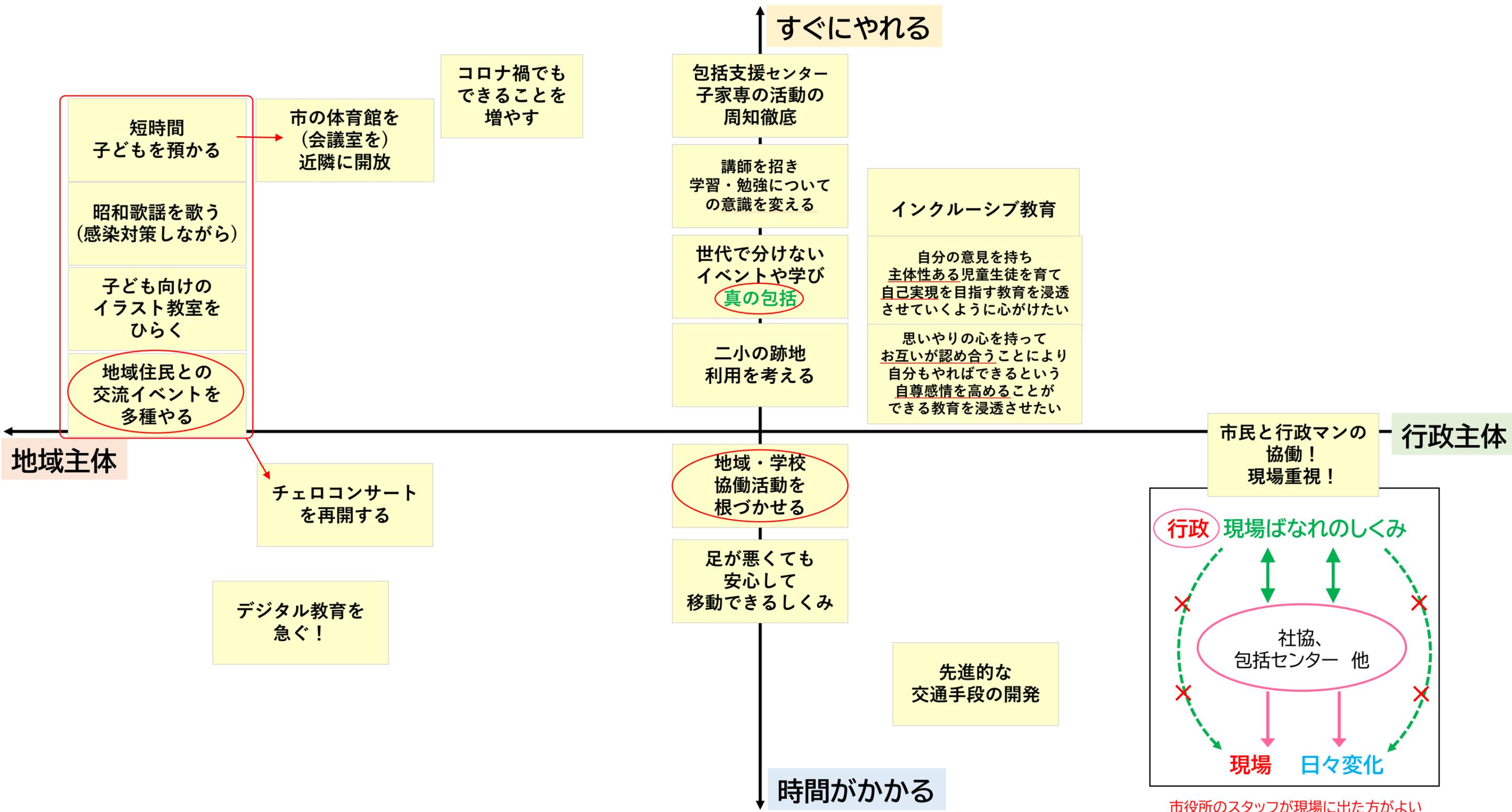


ありたい姿

すごいんだぜ四中校区 ～お互いを尊重して 誰でも安心して暮らせる街～

想い

- ・この地域のすごさは、「住民同士のつながりが強い」「コミュニケーションがすごい」こと
- ・高齢者も、子育て世代も、古い人も、新しい人も、お互いを尊重して「誰でも安心して暮らせる街」へ



場

地域の核となる施設必要

地域の中心となる施設が必要 (市民センター等)

今の市民センター活動をもっと活発化充実させる

住民が集まれる場がない!!
市役所を開放して!

現状を踏まえたうえで文化の香りする街にしたい

理をかなった信頼をベースの市民活動や行政運営を

既存の施設などを活用して住民が交流できる場をつくる

自己実現

人と人とのつながりを創る

自己肯定感を全世代で養成する

ひとりひとりが主体となる

各人の長所をつなぐ

学校

①一人ひとりの個性を大切にしそれを伸ばしていく教育を実現するには

②欧米諸国の新しい思想に基づいた道徳教育「考え議論する道徳」を正確に実践する

③「考え議論する道徳」は深く考え、友達や教師の意見と比較し、自分の意見を持つだけでなく、社会に出た時、即、実践できる体験学習を取り入れることが大切である

④この考え方は自己実現を目指す児童生徒を育てる

⑤それには心理学の専門家であるスクールカウンセラーの仕事内容を従来の個別相談だけでなく、国が決めた新しい仕事内容「学校不適応の予防」に変えて欲しい

⑥新しい校舎を造る時は、質素で良いので廊下のスペースを広くとり、自由に使える広々とした空間をとることが大切である

⑦小中学校のデジタル化教育はコロナによる国、都、区市町村の予算を考えるならばゆっくり慎重に進めるのが良いと思う

⑧来年度の国の予算は「社会保障」に力を入れる傾向にある

⑨35人学級になると当然教室数の確保が必要となってくるができるだけ一人ひとりがゆったりした空間を感じるスペースを残して欲しい

⑩児童生徒とお年寄りの交流は良い事ではあるが児童生徒は菌保持者の可能性が有ることを常に意識して行動する必要がある

学校・教員のスケジュールに合わせた協力関係

デジタル化 ゆっくりと

スクールカウンセラー

体験学習 (ロールプレイ)

対話でつながりをつくる

少し離れたお店への買い物は簡易な移動手段で

子育て世代も 古い人も 高齢者も 新しい人も

対話

認知症対策

超高齢時代向けの計画を20年後

認知症対策を急ぐ!!

地域で見守る人

子育て世代支援相談窓口

誰でも相談できる (分けすぎない)

外に出れなくても食糧を調達できるしくみ

医療・生活支援の充実

昔なじみの人間関係の良さを残したい

新しい入居者に情報発信

相談対応のレベルアップ

行政職員は現場へ

市民は行政にも協力しよう現場離れ

対話ファシリテーション技法の展開

政争をなくせ分断 ↓ 協働、対話

多分野多世代での取り組み

交通

身近な交通手段 (電車やバスより簡易に)

三輪車のシェアのしくみ